

伊賀市議会研修報告書

伊賀市議会議長 様	報告者	議員名 山口康子
研修会名	令和7年度市町村議会議員研修 「3日間コース」第1回「新人議員のための地方自治の基本」	
日時	5月7日 11時00分 ～ 5月9日 12時00分	
場所	全国市町村国際文化研修所	
【研修の成果】	<p>新人議員のための地方自治の基本ということで、議会制度、自治体財政、条例と政策の審査・立案、地方議員に期待されることを3日間で学びました。地方自治の基本を学んだうえで、人口減少により自治体の合併の歴史と広域化、公共施設の統廃合、民間移管などの行財政改革も学びました。今後、県をまたいでの広域連携や統合などを行うことも起こりえるとの内容がありました。</p> <p>伊賀市においても、ごみ処理施設建設の広域連携は、まさしく県を超えて三重県、京都府の連携であると思いました。</p> <p>財政で興味深かったのは、目的別歳出額の推移で2008年から2022年までのデータでは、「民生費」が19.9%から25.8%に増加していること。教育費、土木費、などは3%～4%の減少。高齢化社会による福祉関係の費用が増加していることがわかります。また、都道府県の財政力指数では東京だけが1.06。ちなみに三重県は0.56。1.0を超えると自力で運営でき、0.4を下回ると県が基礎自治体のサービスを代替する必要性があるとのこと。先生の理論では、東京の大学を出て東京に就職する人が90%でその人たちが東京23区に住むほど、日本の生産力が弱くなる、とのことでした。優秀な人材が地方に就職し、居住できる環境こそが生産力を高め、地方の財政力を上げるのだと思います。</p> <p>自治体の財政では、地方公共団体と民間企業の違いを学び、純利益を追及する民間は、決算が重要、公共団体は予算が重要ということ学びました。議員の仕事をさせていただくようになってから、3月に初めて予算審議をさせていただきましたが、仕組みも意味もわからないままの審議でした。今後、財政の勉強を重ね、伊賀市の財政をしっかりとチェックできるよう精進したいと思います。</p>	
費用	旅費： 1,156 円	研修参加費：11000円
		合計 12,156 円

旅程明細書

No.

旅行者	所属	伊賀市議会	氏名	山口 康子
用務名(目的・場所)	市町村議会議員研修【3日間コース】新人議員のための地方自治の基本			
	全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号)			
用務従事期間 (時間)	従事 月日	5月7日	従事 時間	11:00 ~
		5月8日		~
		5月9日		~ 12:00

出張 月日	出発地 (出発箇所)	交通 用具	到着地 (到着箇所)	鉄道賃・船賃・航空賃・車賃			小 計	宿泊料	昼食代	夕食代	朝食代
				路程	運 賃	急行料金					
5月7日	自宅	自家用車	全国市町村国際文化研修所	km 74.0	円 578	円	円 578	円 参加費に込	円 参加費に込	円 参加費に込	円
5月8日								円 参加費に込	円 参加費に込	円 参加費に込	円 参加費に込
5月9日	全国市町村国際文化研修所	自家用車	自宅	74.0	578		578				参加費に込
計							円 1,156	円	円	円	円
							合計	円 1,156			

※研修参加費に昼食代も含まれるため、日当は請求しない。

2025年5月2日

伊賀市議会議長 様

議員名
(自家用車提供者) 山口 康子

政務活動費自家用車使用届 (車賃計算書)

下記のとおり、調査研究等のため自家用車を使用しますので届け出ます。

調査年月日	2025年5月7日 ~ 2025年5月9日		
目的地 (調査研究等場所)	全国市町村国際文化研修所		
調査研究等の内容	市町村議会議員研修(3日間コース) 新人議員のための地方自治の基本		
自家用車使用経路	出発地	伊賀市桐ヶ丘 [REDACTED]	
	到着地	滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号	
自家用車を使用する理由	効率的かつ経済的		
同乗者	なし		
自家用車の車種	トヨタ / 1ア	高速・有料道路利用	有 (無)
型式	DAA-ZWR80G	有料駐車場利用	有 (無)

以下、事務局記入欄

自家用車使用経路 (出発地~到着地)	走行距離 (km)	燃費値 (km/L)	自動車燃料 単価 (円)	ガソリン代 (円)
	A	B	C	A÷B×C
桐ヶ丘 ~ 大津市唐崎	74	23.8	169	$74 \div 23.8 \times 169 = 525.4$ $525 \times 1.1 = 578$
大津市唐崎 ~ 桐ヶ丘	74	23.8	169	$74 \div 23.8 \times 169 = 525.4$ $525 \times 1.1 = 578$
~				
合計				1,156 円

(算出根拠) ※走行距離は、ルート検索ソフト等の地図上で計測する。(km 未満は切り捨て)

※燃費値は、国土交通省が公開する「自動車の燃費性能に関する公表」による。

※自動車燃料単価は、出発日の属する月の市の契約単価による。

領 収 書

伊賀市議会 山口 康子 様

金額 11,000 円



但し、 令和7年度市町村議会議員研修[3日間コース]
「新人議員のための地方自治の基本」第1回

の 研修に要する経費

として上記の金額を領収いたしました。

令和7年4月30日

〒520-0106
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役  

領収書No. 96

令和7年度

市町村議会議員研修[3日間コース]

第1回 新人議員のための 地方自治の基本

地域住民の期待と信頼に応えるためには、社会情勢の変化や地域の諸課題、住民ニーズの把握に加え、地方自治に関連する諸制度について精通していることが重要です。

この研修では、新人議員(研修開始日時時点で1期目の議員)を対象として、地方議員が理解しておくべき地方自治に関する諸制度や基本的事項を講義や演習を通じて学びます。

また、全国の市区町村議会議員が集い、地方自治に関する様々なテーマについて情報交換や意見交換を行います。

共催: 全国市議会議長会 後援: 全国町村議会議長会

開催要領

日 程

令和7年5月7日(水)~5月9日(金)(3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村議会の新人議員(1期目)の皆様

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
*議員通算4年未満の方が対象です。4年以上の方は申し込みできません。

募集人数

60人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

11,000円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和7年3月14日(金)まで

申込方法

議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

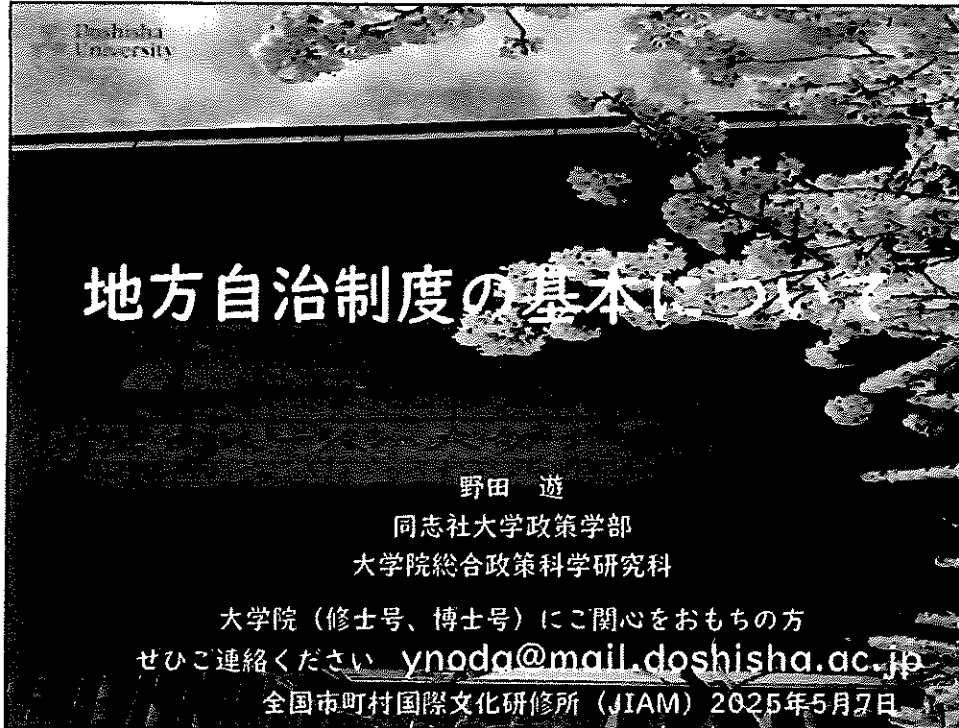
問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL 077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

5/7
13200~



目次

- | | |
|----------|----------|
| 1. 地方分権 | 7. 自治体議会 |
| 2. 財政 | 8. 自治体組織 |
| 3. 行財政改革 | 9. ガバナンス |
| 4. 市町村合併 | 10. 政策 |
| 5. 広域連携、 | 11. 広報 |
| 6. 行政編成 | |

休心

. 2

三和銀行 1998 のころ 市町村合併
研究員 京都 全.R. 取島
中野にコミット 7/14/21 の立場から

5/7 15:30~

地方議会制度について

令和7年度市町村議会議員研修 [3日間コース]

第1回 新人議員のための地方自治の基本

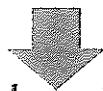
令和7年5月7日 (水)

全国市議会議長会 企画議事部 篠田光洋

0 はじめに - 地方議会・議員に求められているもの

- 自由民主主義体制を備えた国の中で見て、日本人の政治参加度は最低水準⇒現代日本は「最小参加社会」民主主義の危機
(蒲島郁夫・境家史郎『政治参加論』東京大学出版会)

※同書は政治参加を「政府の政策決定に影響を与えるべく意図された一般市民の活動」と定義し、代表的な政治参加として、投票、選挙運動、地域運動（陳情、住民運動などが含まれる）、個別接触（公職者への直接的なはたらきかけ）、抗議活動（デモなど）、オンライン活動の6つがあげられている。

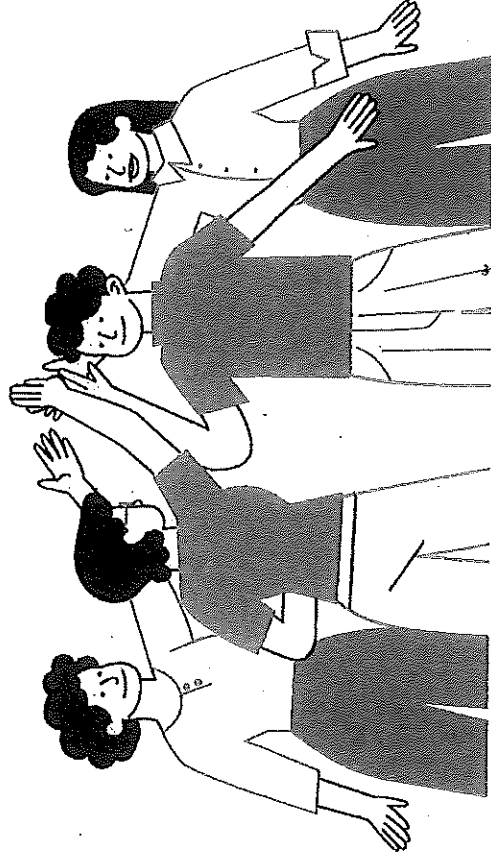


- 地域の多様な民意を集約し、広い見地から個々の住民の利害や立場の違いを包摂する地域社会のあり方を議論する議会の役割がより重要となる。（第33次地方制度調査会「多様な人材が参画し住民に開かれた地方議会の実現に向けた対応方策に関する答申」令和4年12月28日）

多様な人材の地方議会への参画促進

慶應義塾大学法学部政治学科

谷口尚子



2025年5月8日

JIAM市町村議会議員研修「新人議員のための地方自治の基本」

地方議会と自治体財政

武庫川女子大学教授 金崎 健太郎

伊賀市議会研修報告書

伊賀市議会議長 様	報告者	議員名 山口康子
研修会名	令和7年度市町村議会議員研修 「2日間コース」第1回「防災と議員の役割	
日 時	4月24日 11時00分 ～ 4月25日 15時00分	
場 所	全国市町村国際文化研修所	
【研修の成果】	日ごろから防災について、深く学びたいと思っており、今回の	
研修に参加させていただきました。研修では防災についての事前アンケートがあり		
回答するためには勉強しなければならず、予習をしたうえで受講することができま		
した。2日間の研修の講師の先生は2名で、どちらの講師も長年防災の研究をされ、		
大規模災害の現場での実体験と写真をもとに、平時の防災について学びました。		
なぜ、人は備えないのか？（なぜ逃げ遅れるのか？）なぜ行政、福祉、企業等の		
災害対策の優先順位は低いのか？との問題に、"正常化の偏見「自分は大丈夫！」"		
自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価してしまう人間の特性を学び		
ました。また東日本大震災の時に、岩手県大槌町での災害対応に当たった職員の話や、		
宮城県東松島市の市議会議員の行動を通して、ワークショップを行い、議員として		
「災害時にはいけないこと、すべきこと」、「行政としての効果的な対応をする		
ために」をテーマに意見を出し合いました。議会においては、平時に議会BCPの作成		
を行い役割を明確にする、との意見が多く、議員の勝手な行動が職員の混乱を招いてし		
まうとことでした。個別避難計画作成の重要性も学び、平時にできること、しなければ		
ならないことがたくさんある、と思いました。		
能登町の町議会議員の講義では、発災後の活動を通して講義されましたが、		
発災後、住宅の柱の下敷きになり助けられず、亡くなった中学生の		
生々しい話に出ましたが、自衛隊が到着するまでの3日間、住民の命を守る		
ために必死で活動されましたが、今も課題は残っており、これで正しかったのかという		
疑問はある、災害の対応に正解はない、と言われておりました。それでも私たちは		
災害の被害を想定して、平時にできること、備えることに努めていくしかないと思		
いました。		
費用	旅費：1,156円	研修参加費：8050円
		合計 9,206円

旅程明細書

No.

旅行者	所属	伊賀市議会	氏名	山口 康子
用務名(目的・場所)	市町村議会議員研修【2日間コース】第1回「防災と議員の役割」 全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号)			
用務従事期間 (時間)	従事 月日	4月 24日	従事 時間	12:30 ~
		4月 25日		~ 15:00
		月 日		~

出張 月日	出発地 (出発箇所)	交通 用具	到着地 (到着箇所)	鉄道賃・船賃・航空賃・車賃			小 計	宿泊料	昼食代	夕食代	朝食代	
				路程	運 賃	急行料金						
4月24日	自宅	自家用車	全国市町村国際文化研修所	km 74.0	円 578	円	円 578	円 参加費に込	円 参加費に込	円 参加費に込	円	
4月25日	全国市町村国際文化研修所	自家用車	自宅	74.0	578		578		参加費に込		参加費に込	
計							円 1,156	円	円	円	円	
							合計	円 1,156				

※研修参加費に昼食代も含まれるため、日当は請求しない。

2025年4月18日

伊賀市議会議員 様

議員名
(自家用車提供者) 山口康子

政務活動費自家用車使用届 (車賃計算書)

下記のとおり、調査研究等のため自家用車を使用しますので届け出ます。

調査年月日	2025年4月24日 ~ 2025年4月25日		
目的地 (調査研究等場所)	全国市町村国障研修所		
調査研究等の内容	市町村議会議員研修〔2日間コース〕 第1回「防災と議員の役割」		
自家用車使用経路	出発地	自宅(伊賀市桐ヶ丘 [REDACTED])	
	到着地	全国市町村国障文化研修所(JIAM)	
自家用車を使用する理由	合理的 効率的かつ経済的なため		
同乗者	なし		
自家用車の車種	トヨタ / ア	高速・有料道路利用	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
型式	DAA-ZWR80G	有料駐車場利用	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

以下、事務局記入欄

自家用車使用経路 (出発地~到着地)	走行距離 (km)	燃費値 (km/L)	自動車燃料 単価 (円)	ガソリン代 (円)
	A	B	C	$A \div B \times C$
自宅(桐ヶ丘) ~ (大津市唐崎) 研修所	74.8	23.8	169	$74 \div 23.8 \times 169 = 525.4$ $525 \times 1.1 = 577.5 = 578$
(大津市唐崎) 研修所 ~ 自宅(桐ヶ丘)	74.8	23.8	169	$74 \div 23.8 \times 169 = 525.4$ $525 \times 1.1 = 577.5 = 578$
~				
合計				1,156 円

(算出根拠) ※走行距離は、ルート検索ソフト等の地図上で計測する。(km未滿は切り捨て)

※燃費値は、国土交通省が公開する「自動車の燃費性能に関する公表」による。

※自動車燃料単価は、出発日の属する月の市の契約単価による。

領 収 書

伊賀市議会 山口 康子 様

金額 8,050 円



但し、 令和7年度市町村議会議員研修「2日間コース」第1回
「防災と議員の役割」

の 研修に要する経費

として上記の金額を領収いたしました。

令和7年4月15日

〒520-0106
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役  

領収書No. 61

受講証明書

団体名 : 三重県 伊賀市

所属・氏名 : 伊賀市議会 議員 山口 康子

研修名 : 令和7年度 市町村議会議員研修[2日間コース]
第1回「防災と議員の役割」

期間 : 令和7年4月24日(木) ~ 4月25日(金)

上記の研修を受講したことを証明します。

令和7年4月25日

全国市町村国際文化研修所
学長 荻澤 滋



令和7年度



市町村議会議員研修[2日間コース]

第1回「防災と議員の役割」

地震や記録的な豪雨、大型台風などによる自然災害は毎年のように各地で発生しています。住民の命と生活を守るため、日頃からの防災意識の向上、訓練や備え、助け合える関係づくり、また、行政との緊密な連携が改めて重要となっています。

本研修では、災害発生に備え、平時からの防災の心構えや地域での連携の重要性について学び、現在の防災対策に関連する諸課題や議会・議員の果たすべき役割について考えます。

後援：全国市議会議長会・全国町村議会議長会

開催要領

日 程

令和7年4月24日(木)～4月25日(金) (2日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村議会議員の皆様

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰行はできませんのでご注意ください。過去に本研修を受講された方もお申込みいただけますが、より多くの方に受講していただくため、申込人数によってはお断りする場合がございますので、ご了承ください。

募集人数

60人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

借 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

8,050円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食2回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和7年3月14日(金)まで

申込方法

議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

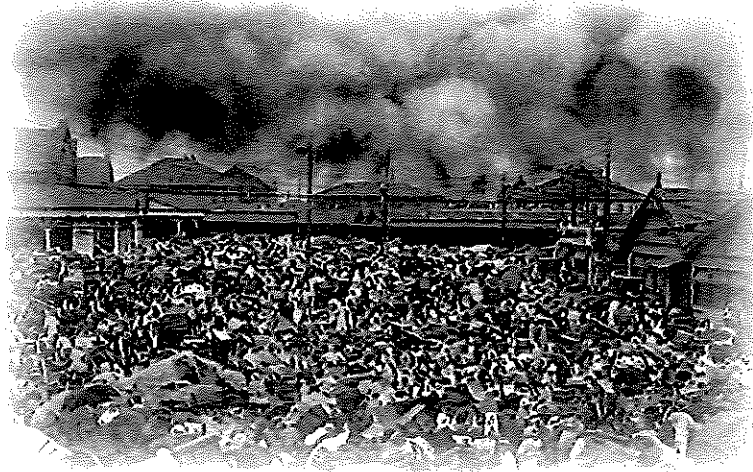
問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL 077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

過去の災害の教訓を これからの活かす



福井大学名誉教授

酒井明子

災害の時はいちばん
今も被災地への支援

国難級災害

令和6年能登半島地震による能登町の被害状況

能登町議会



7/5 復興を祈願し開催された「あばれ祭」(日本文化遺産)

能登町の概要

○能登町の概要

平成17年3月1日、能都町・柳田村・内浦町の2町1村が合併
 人口：14,776人 (R6.4.1) 世帯数：7,047 面積：273.3km²

R7. 14,061人

減少

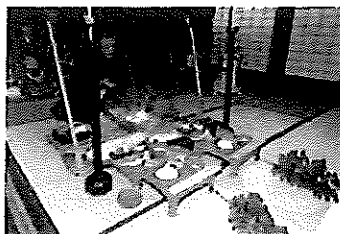
6858



スルメイカのモニュメント(イカキング)

○町の特徴など

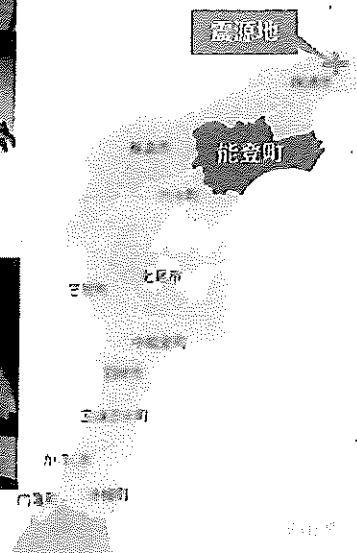
- ・宇出津港のと寒ぶり(定置網漁)
- ・小木港冷凍スルメイカ(日本3大水揚港)
- ・能登牛(石川県最大の産地)
- ・いしり(日本3大魚醤油)
- ・能登杜氏(日本4大杜氏)
- ・キリコ祭り(日本文化遺産)
- ・あえのこと(ユネスコ無形文化遺産)
- ・アマメハギ(ユネスコ無形文化遺産)
- ・能登の里山里海(世界農業遺産)



あえのこと



アマメハギ



平時の防災 ～マネジメントを中心に～

第1回 防災と議員の役割 全国市町村国際文化研修所

令和7年4月24日

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部まちづくり学科教授
内閣府 被災者支援のあり方検討会座長
(元板橋区危機管理担当部長、前区議会事務局長)
鍵屋 一

祝！男鹿のナマハゲら来訪神
ユネスコ 無形文化遺産！ 2018年11月29日

